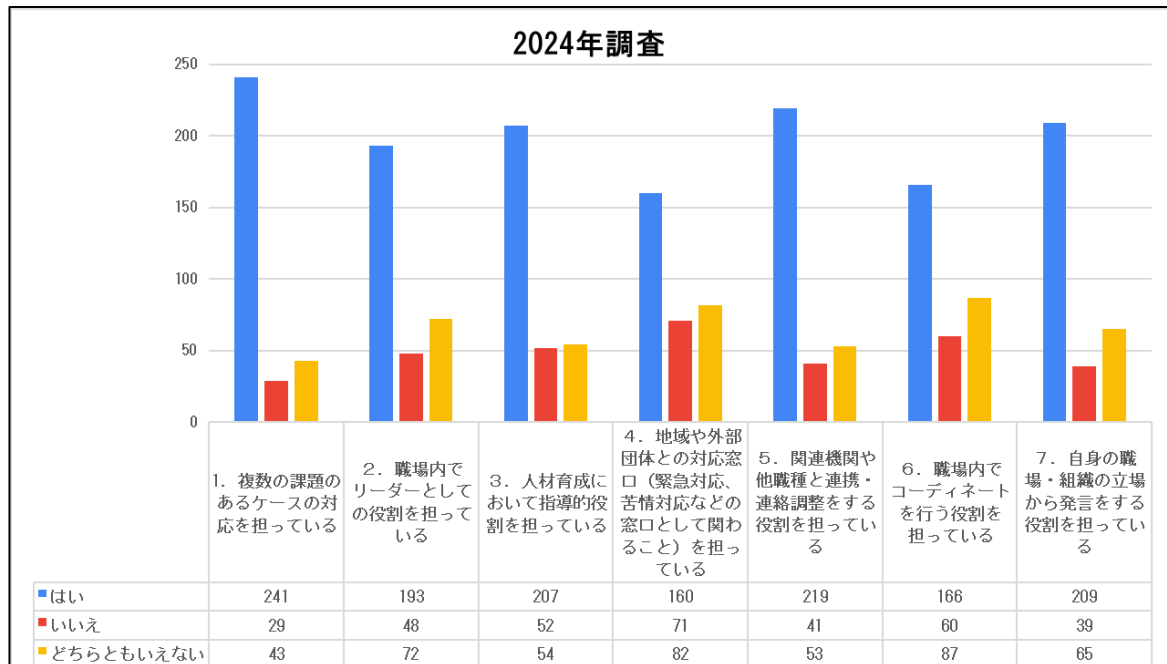


② 認定社会福祉士が担う「役割」について、現在、その「役割」を担っているか。

<結果>

2024 年調査での「役割」を担っているかの各質問項目内で「はい」と返答した割合は、「いいえ」「どちらともいえない」を上回っている。しかし、2017 年調査と比較すると、「複数の課題のあるケースの対応を担っている」以外は、「いいえ」と答えた割合が高くなっている。



		いいえ		どちらともいえない		はい	
複数の課題のあるケースの対応を担っている	2017年	30	8.65%	50	14.41%	267	76.95%
	2024年	29	9.27%	43	13.74%	241	77.00%
職場内でリーダーとしての役割を担っている	2017年	41	11.82%	75	21.61%	231	66.57%
	2024年	48	15.34%	72	23.00%	193	61.66%
人材育成において指導的役割を担っている	2017年	36	10.34%	71	20.40%	241	69.25%
	2024年	52	16.61%	54	17.25%	207	66.13%
地域や外部団体との対応窓口（緊急対応、苦情対応などの窓口として関わることを担っている	2017年	47	13.58%	92	26.59%	207	59.83%
	2024年	71	22.68%	82	26.20%	160	51.12%
関連機関や他職種と連携・連絡調整をする役割を担っている	2017年	21	6.05%	62	17.87%	264	76.08%
	2024年	41	13.10%	53	16.93%	219	69.97%
関連機関や他職種と連携・連絡調整をする役割を担っている	2017年	34	9.83%	91	26.30%	221	63.87%
	2024年	60	19.17%	87	27.80%	166	53.04%
自身の職場・組織の立場から発言をする役割を担っている	2017年	33	9.54%	77	22.25%	236	68.21%
	2024年	39	12.46%	65	20.77%	209	66.77%

第Ⅳ章認定社会福祉士の認定後の「他者からの評価」

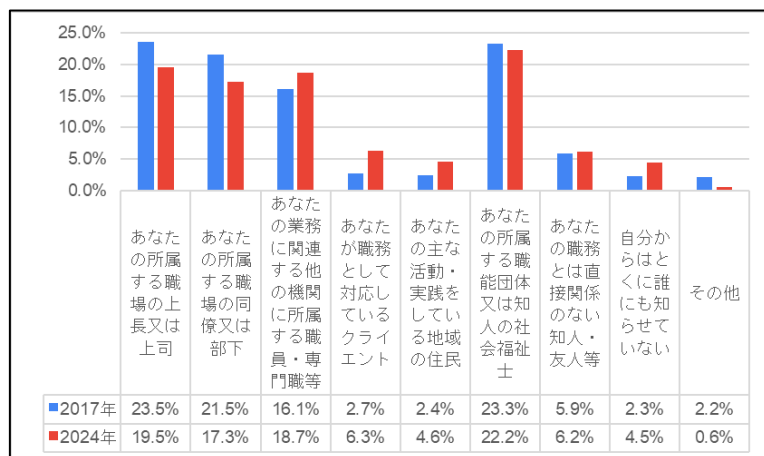
調査項目の大項目Ⅳについては、①の設問では、まず、認定社会福祉士となった本人自身が、認定を受けたことについて誰に表明したのか、②の設問では、その表明はどのような方法や手段で行ったのか、③での設問では、①②の結果、誰から関心又は評価を示してもらえたと感じたのか、を3段階で尋ね、④の設問では、その関心又は評価の内容を記述で表記していただきました。他者から評価を受けているかどうか、又は評価されていると感じたかどうか、については、非常に主観的であり、指標とはなりにくいため、一部記述での回答を求めました。

Ⅳ. 認定を受けた後の「他者からの評価」について

① 認定を受けたことを、どのような人に知らせたか。

<結果>

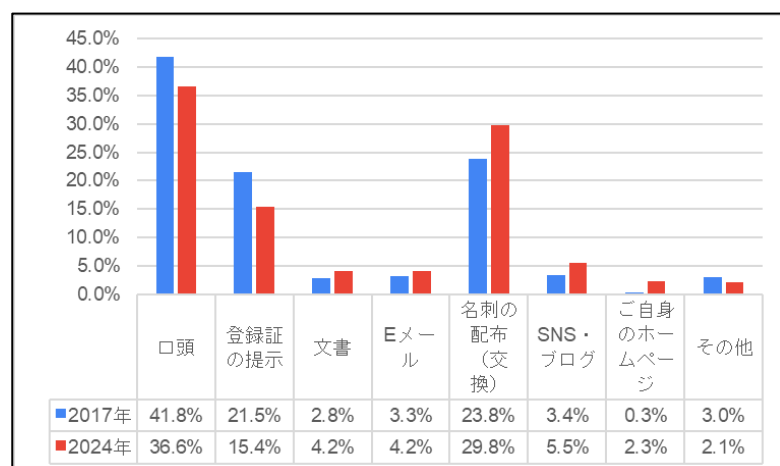
2024 年調査では、「所属する職場の上長又は上司」「所属する職場の同僚又は部下」「所属する職能団体又は知人の社会福祉士」へ知らせた割合は低下している。しかし、「職務として対応しているクライアント」「主な活動・実践をしている地域の住民」へ知らせた割合は高くなっている。



② どのような方法・手段で知らせたか。

<結果>

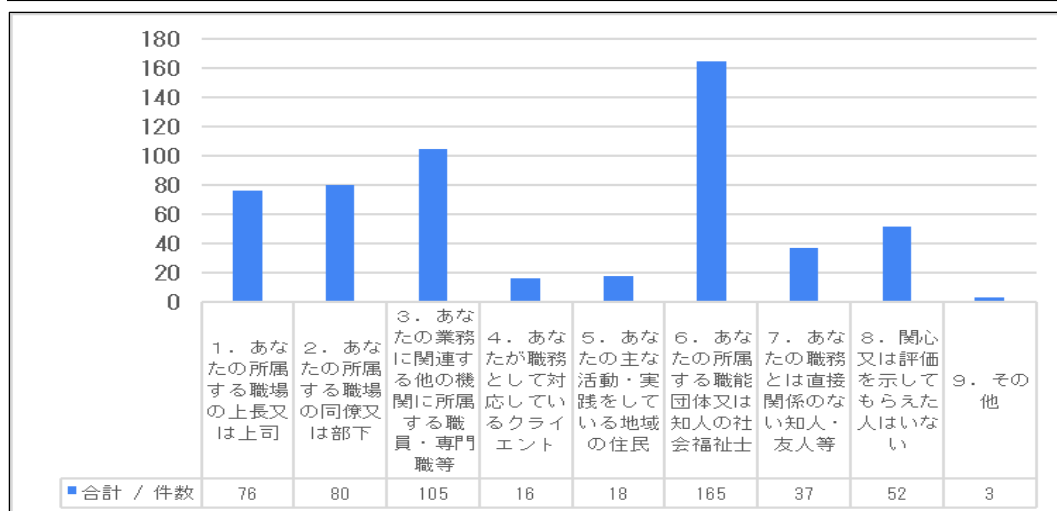
認定を受けた周知の方法・手段は、「口頭」「名刺の配布（交換）」「登録証の提示」を用いた割合は共に高い数値を示しているが、2024 年調査では「名刺の配布（交換）」以外は割合が低下している。



③ 認定を受けたことに「関心、又は評価を示してもらえた」と、あなたが感じたのはどのような人か。

<結果>

2024 年調査の「関心、又は評価を示してもらえた」と感じたとの回答は、「所属する職能団体又は知人の社会福祉士」「業務に関連する他の機関に所属する職員・専門職等」からのフィードバックが多い。



④ 「関心、又は評価」の内容について。

	内容
1	公私のバランスをとりながら、継続的に専門性の向上に努めていることについて一定の評価
2	認定を取るまでの過程が大変だったであろうと、ねぎらいの言葉があった
3	知人の社会福祉士から、認定を取ったことへの意欲や努力を評価された
4	認定社会福祉士を取得が難しく価値のあることだと思われているため、努力に対して評価された
5	今までの活動についての努力内容やこれからの活動に向けた激励を頂いた
6	一般の社会福祉士とは違うと言われた
7	よく勉強していると感心された
8	名刺をお渡しすると、すごいですねなどの言葉が聞かれた
9	社会福祉士を目指している友人で、いつも励ましてくれていたから、喜んでくれた
10	珍しいので
11	どんな経過で取得できるのか？
12	名刺を見て、これはどういう資格なの？と尋ねてくれた
13	認定社会福祉士の認定ってなんですか？「地域社会」で頑張りたいから取ったのですよ
14	頑張っている人という印象
15	大抵、「取得したい」という話は殆どない。SVを通してバイザーから聞かれる程度です
16	認定社会福祉士の取得を目指している社会福祉士から、普段の実践内容や研修におけるレポートの書き方などに関心を感じてもらえたと感じる場面があった
17	認定を目指している社会福祉士から関心を持たれた。職能団体内では誰が認定であるかは共有されていない為、余程関心が高い社会福祉士が役員でないと把握されていない
18	職能団体の他の社会福祉士は手続き等の煩雑さも条件の大変さ(時間と費用)も知っていたので、実績評価というよりも認定事務に挑んだことを労ってもらえた
19	正当な評価というより、認定をもっているんだからちゃんとしているはずと、皮肉としてプレッシャーをかけられる
20	認定のための研修レポートについてや認定取得後の研修や会議などに声をかけていただけたこと
21	合格したことへの祝福
22	関係機関との連携がしやすくなった
23	地域関係機関との協議会立ち上げから、その関係メンバーとして召集された
24	認定社会福祉士をとって、何か変化があったのか聞かれました
25	認定はどうやって名乗れるのか質問を受けた
26	もっていることについて少し評価はあった
27	認定について聞かれる、認定持っているとは他者に伝えている
28	すごいですね
29	単に難しい「認定」を取り、更新したということについての評価
30	他の都道府県の方から認定を取っていることをすごいことと評価された。その方も認定を目指している方で、取得がどれだけ大変なことかをわかっているためそのような評価につながったと思われる
31	信頼された対応
32	認定までの難しさなどの関心が寄せられた
33	まだ若いのに、たくさん勉強されているんですねというお声はかなりの確率でいただいています
34	「ふーん」と言われただけ。妻・父母からは、「そんなに苦勞するなら、精神保健福祉士のほうがよかったんとかうの」と言われた
35	口頭評価
36	複数で担当している業務において、研修会を実施する際、名前の前に認定社会福祉士と記載して、認定を所持していない人は社会福祉士と記載し区別化されている。また、殆どの社会福祉士が認定取得できていないので、認定取得に向けた学習方法等について、機会あるごとに質問を受けている
37	認定社会福祉士の登録をしている社会福祉士会の会員
38	認定社会福祉士の名刺を初めて見たと言われた

39	関心のない人が多い
40	この認定制度を理解している人たちである為、認定取得に必要なプロセスをパスしたことに対して一定の評価の言葉を頂いた
41	認定珍しいという反応
42	名刺交換した際、「認定ですか？」と言われた
43	職場や私の業務エリアでは、認定社会福祉士の価値や専門性への理解・興味が乏しい。むしろ、医療職や主任ケアマネの方が重要視される
44	「普通の社会福祉士とは違うんだね」と直属の上司から言われました。「関心」というよりも、単に「確認したかっただけ」という反応でした
45	認定社会福祉士の認定を受けようとする社会福祉士からは、認定されたことについては評価されるが、関心は認定申請の書類作成に関することに集中している
46	「すごいですね」とお褒めの言葉をいただいた
47	向上心を持って仕事をしていることを評価してもらいました
48	取得方法を改めて聞かれた
49	存在すら知られていない
50	関係している社会福祉法人の広報誌に認定社会福祉士〇〇さんとの紹介があった
51	医師や看護師、幹部は認定資格として診療報酬算定に活かせる日がくると評価してくださった。同僚達からは自己満足でしかないと、他から聴きました
52	1人はいつも懇意にいただいている社会福祉士で、県士会の理事や日本社会福祉士会でも大きな役割を担っている方で相当の知識経験のある方。もう一人はご自身も認定社会福祉士をめざされている先輩社会福祉士。この二人のみ
53	基礎研修から長期間にわたる研鑽へのねぎらい
54	認定社会福祉士制度を知っているため、将来資格を取ろうと思っている人、逆に大変な勉強をしてまで取ろうとは思っていない人、賛否両論ではあるが、一目置かれた
55	資格取得の難しさ
56	連携する専門職から「認定をもっているんですね」等といわれる
57	「さすが」「すごい」等、お褒めの言葉をいただいた。研修・会議等で認定社会福祉士としてのコメントを求められる。（いち社会福祉士より上のレベルのコメントを期待される）
58	認定社会福祉士を取得する手順等について相談を受けた
59	（あまり制度を理解していないと思われる人から）「すごいね」と言われた
60	社会福祉士の知人等以外からは「認定社会福祉士って何ですか？」「とると何かかわるんですか？」といった認知度や理解度のひくい反応が多かった
61	専門的な事例検討などへの参画へつながった
62	所属する法人内の複数のSWから取得したことについて評価された。また、母校の大学教員とSVをしてくださった大学教員に報告をしたら、取得したことについて評価された
63	社会福祉士を目指してみようという部下が増えた。同じ社会福祉士の知り合いが認定を目指そうという気持ちを持ってくれた。
64	取得当初は、組織外SVの依頼があった。今は定着した
65	努力への評価
66	最初は（まわりに）認められなくてもそのような努力は続けていった方がいいですね
67	「よかったね」程度
68	専門性があることでより活動において信頼度は上がった
69	同僚の社会福祉士に「普通の社会福祉士とは違う」と言われた。後輩が認定を取得する際に課題レポート等の相談を受けた
70	認定資格を知っている会員は、自分も目指そうと思ってくれた。また、それを意識して基礎研修講師をする際に常に喚起してきた。業務に関係する方からは「認定ですね」と技量のある社会福祉士として見られ、仕事内容に期待された
71	取得するまでの労力と能力に対する労い
72	登録証のコピーの提出を求められた。資格についての問いを受けた
73	見えない努力への、評価
74	より専門的な知識、対応等の期待を感じた
75	認定社会福祉士を目指している人から、研修内容などを聞かれた

76	社会福祉士の名前の前に「認定」が付くことで専門的な技術、知識が身についたと評価して良いであろう。という関心
77	受けるんだったらどうぞくらいの感覚
78	取得が難しいと感じている（手続きの煩雑さ含）方は、努力について評価されました
79	口頭等で「認定になられたんですね」程度
80	資格取得に対する報奨金がでたこと。認定社会福祉士の取得方法について質問があったこと
81	認定取得までの努力が認められた
82	社会福祉士から業務について相談を受けることが増えた
83	認定を取得している方からはねぎらいとおほめの言葉をいただいた
84	「認定取ると大変だったね」申請の大変さが多く聞かれた
85	認定社会福祉士であることで担う活動が、職能団体のなかにあるため
86	認定資格の取得条件や更新要件など
87	取得が大変だったよね、すごいねの評価いただきました
88	専門職やサービス事業所は認定という表記には関心を示される。地域住民はさっぱり
89	すごいね
90	認定社会福祉のことを評価してもらえた記憶はない
91	職能団体の広報誌で記事を書いた。同じ認定社会福祉士と研究を始めた
92	人数が少なく困難な「認定」、更生保護行政プロパー唯一であること
93	国試合格の資格取得者より専門性が高い、複雑なケースに対応できる、スーパーバイザーとして頼りにできる、など
94	羨望の目で見られたと思う
95	職場ね上司は、これからも期待していると関心を伝えてくれた。（既に、退職しました。）社会福祉士会で、お祝い会を開催していただきました
96	講演依頼を受けた時に聞かれた
97	無反応だけならまだいいが、コストパフォーマンスの悪さを指摘され、悲しくなった
98	すごいねえ、とか、どうやってとったのとか関心はあるけど、認定だからと評価してはいない。認定を取るときに、レポートなどで自分の実践を理論的に分析できるようになって自分の学びは大きい、それは他の人にはわからない
99	無関心だった
100	社旗福祉士からは「すごいですね」などの応答はあった
101	社会福祉士や認定社会福祉士を目指したいですとありました
102	おお！自分も目指したいという反応があった
103	クライアントがこれから利用するサービス機関の担当者に名刺を渡し挨拶する
104	資格取得時にお休みを頂いたり、協力を得たりと職場の理解を得るため上司に伝えていた。取得した事を報告したら、努力を讃えて下さった
105	制度の概要
106	すごいねと言われた
107	トップから「認定社会福祉士になるとどうなるのか？」と質問がありました。→私「知識が増える。その次の上がある。」と報告しました。→トップから「上を目指しなさい。」とご指導がありました
108	認定社会福祉士の社会的地位について。資格取得までの流れ等
109	認定社会福祉士を取得するのが困難なことが理解している
110	実際、基礎研修や認定を受けている人達のみでの関心・評価となっている
111	資格取得をどのようなルートで行ったのかの実務的な内容についての質問があった
112	学びを深めたことに対して評価された
113	専門性への評価
114	努力へのねぎらい
115	自己研鑽している社会福祉士と評価されていると思います
116	取得した際に評価されたのみ
117	認定受けるまでのハードルの高さがあるので、努力したことに評価をいただいた
118	同僚や社会福祉士の仲間は関心を寄せてくれた
119	取得方法を聞かれた